

令和 7 年つくば市議会定例会 6 月定例会議
請 願 文 書 表

受 理 番 号	受 理 月 日	件 名	提 出 者 の 住 所 氏 名	請 願 要 旨	紹 介 議 員 氏 名	付 託 委 員 会
請願 7 第 1 号	5.30	つくば市産業会館 (仮称) の建設に 関する請願書	茨城県つくば市 ■ ■ ■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■ ■■ つくば市商工会 会長 ■ ■ ■ ■ ■	別紙	渡辺 峰子 高野 文男 小久保貴史 飯岡 宏之	市民経済
請願 7 第 2 号	6・2	特別支援教育支援 員の増員に関する 請願書	茨城県つくば市 ■ ■ ■■■■■■■■ ■■ ■ ■	別紙	小村 政文	総務文教



第 7 号 / 第 7 号

令和七年五月吉日

つくば市産業会館(仮称)の

建設に関する
請願書

○請願趣旨

つくば市はつくばエクスプレス 常磐自動車道や首都圏中央連絡自動車道をはじめ沿線地域の交通インフラの整備が進められており、そのポテンシャルの高さが認められており、商業施設や工場など企業の立地が続くと共に全国的に少子高齢化が進む中人口増加率が日本一にならぬと順調な発展を遂げている

一方産業を支える人材の確保が大きな課題となる中

研究学園都市として発展を遂げてきたつくば市としては

才二次つくば市産業戦略を策定し「世界の未来をつくる

産業創造都市つくば」を目指し科学×技術×人材の

つながりの強化による産業競争力の向上を図るため

施策テーマの一つは異業種連携域内取引の促進を

掲げ企業間連携の支援を重点的に推進するとしている

本会としてはつくば市が掲げる「世界の未来をつくる産業

都市つくば」の実現に向けつくば市の施策に積極的に協力

する所存でありこの目標達成のために欠かすことが出来ないのが
異業種連携であり商工関連団体が集積し常に交流し
やすい環境を創ることを考えている

このようないくつかの市のセンター地区につくば市内
や他地域の商工業者が交流し連携を深め創業へとつな
がるような施設が必要と考えており茨城県が所有する
旧つくば中央警察署の跡地につくば市産業会館(仮称)を
建設することは大変有益であり当該施設は商工関連団

体及び地域の経済的相乗効果を生み出す拠点となる

○請願事項

つくば市においては旧つくば中央警察署跡地について商工

関連団体等が集積するつくば市産業会館（仮称）の建設

用地としてつくば市へ譲渡するよう県に対して働きかけて

いきたい

またつくば市においては同会館の建設

及び運営について同団体等が利用しやすいよう経済的

な支援等の配慮をお願いしたい

令和七年五月三十日

つくば市議会議長 黒田健祐様

つくば市産業会館(仮称)の建設に関する請願書

請願者 住所 茨城県つくば市

氏名 つくば市商工会

会長

連絡先

紹介議員(署名)

飯岡宏之

渡辺峰子

高野文男

小久保貴史

紹介議員(署名)

○請願趣旨

つくば市は、つくばエクスプレス、常磐自動車道や首都圏中央連絡自動車道をはじめ沿線地域の交通インフラの整備が進められており、そのポテンシャルの高さが認められており商業施設や工場など企業の立地が続くと共に、全国的に少子高齢化が進む中人口増加率が日本一になるなど、順調な発展を遂げている。

一方、産業を支える人材の確保が大きな課題となる中、研究学園都市として発展を遂げてきたつくば市としては、第2次つくば市産業戦略を策定し、「世界の未来をつくる産業創造都市つくば」を目指し、科学×技術×人材のつながりの強化による産業競争力の向上を図るため、施策テーマの一つに異業種連携・域内取引の促進を掲げ、企業間連携の支援を重点的に推進することとしている。

本会としては、つくば市が掲げる「世界の未来をつくる産業都市つくば」の実現に向け、つくば市の施策に積極的に協力する所存であり、この目標達成のために欠かすことが出来ないのが、異業種連携であり商工関連団体が集積し常に交流しやすい環境を創ることだと考えている。

このようなことから、つくば市のセンター地区につくば市内や他地域の商工業者が交流し、連携を深め創業へとつながるような施設が必要と考えており、茨城県が所有する旧つくば中央警察署の跡地につくば市産業会館(仮称)を建設することは大変有益であり、当該施設は商工関連団体及び地域の経済的相乗効果を生み出す拠点となる。

○請願事項

つくば市においては、旧つくば中央警察署跡地について、商工関連団体等が集積するつくば市産業会館(仮称)の建設用地としてつくば市へ譲渡するよう、県に対して働きかけていただきたい。

また、つくば市においては、同会館の建設及び運営について、同団体等が利用しやすいよう経済的な支援等の配慮をお願いしたい。



請願 7 第 2 号

2025 年 6 月 2 日

つくば市議会議長 黒田健祐 様

特別支援教育支援員の増員に関する請願書

請願者 住所 茨城県つくば市

氏名

連絡先

紹介議員（署名） 小村 政文

○請願趣旨

1. 目的

つくば市の特別支援学級に通う児童生徒が、安心して安全な学校生活とより質の高い教育を受けられるように、特別支援教育支援員を増員することで、教育環境を改善したい。

児童生徒の学習や生活をより細かくサポートし、一人ひとりのニーズに応じた教育を提供してほしい。また支援員が増えることで、教師の負担を軽減し、教師の教育の質の向上も図りたい。

2. つくば市における状況と支援員増員の必要性

つくば市は一昨年から、小学校が 3 校、中学校が 2 校も新設されるなど、全国でも珍しく子どもの数が増加している。その中で特別支援学級に通う児童生徒も増加傾向にあり、令和元年に 734 人だった小中学生全体の支援学級在籍児童数が、令和 6 年には 1304 人と実に倍近くまで増えている。また、その数を小学生だけに絞ってみても、令和元年に 542 人だった支援学級在籍児童数が、令和 6 年には 944 人とやはり倍近くまで増えている。

ところが、特別支援教育支援員の数は令和元年に 130 人だったのが、令和 6 年には 167 人とわずか 37 人しか増えていない。児童数の増加に対して支援員の増加が圧倒的に追いついていないのが現状である。

その結果、支援学級在籍の児童生徒が交流学級(普通級)で授業を受ける際、十分な支援が行き届かないことが多く、本人だけでなく、普通学級の児童生徒や教師の負担が増し、学校全体の教育環境にも支障が生じるケースが少なくない。

3. 支援員増員によって期待される効果

一人でも多く支援員を増員することで、まずは圧倒的に足りていない特別支援学級の現場でのマンパワーを少しでも補うことができる。そして、一人ひとりの児童生徒のニーズに応じた個別支援が可能となり、児童生徒の安全確保や学習意欲を高め、学校生活の充実にもつながる。

それが学校全体の教育環境の改善にも繋がり、障害のある子どもも無い子どもも安心して学校生活を送れる環境を整備できる。さらに教師の負担が軽減され、提供する教育の質の向上にもつながる。

○請願事項

特別支援学級に通う児童生徒のみならず、普通学級に通う児童生徒や、教育にあたる教員の方々のためにも、つくば市の教育環境を改善するため、つくば市の特別支援教育支援員の増員に向けて取り組んでいただくことを求めます。

以上、地方自治法第 124 条の規定によりお願いいたします。

この請願が、つくば市の特別支援教育の発展、教育環境の改善に貢献することを願っています。